

# KADOMA ROTARY

## Club Weekly Bulletin



### 門真ロータリークラブ

事務所 〒570-0038 守口市河原町 10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口 5F  
TEL 06-6993-0107 FAX 06-6993-0108 E-mail office-kadoma@silk.plala.or.jp  
例会 毎週木曜日 12時30分 於 ホテル・アゴーラ大阪守口  
会長 辻岡 昌美 幹事 玄野美紀子 会報広報委員長 橋田 真和 創立 1969年4月17日

### UNITE FOR GOOD

2025-26 年度 RI テーマ  
「よいことのために 手を取りあおう」  
RI 会長 フレンчесコ・アレツツォ



29 JANUARY 2026 No. 2577

2026年1月22日 例会報告  
第2576回例会

次回例会 2月5日(木)  
クラブフォーラム：国際奉仕委員長  
例会後 2月度理事会 開催

#### 出席報告

会員	数(出席免除会員2名含)	21名
名誉会員		3名
本日の出席	(出席免除会員含まず)	15名
欠席		6名
出席率		78.95%
12月11日の出席	(出席免除会員含まず)	14名
メーキャップ後結果		15名
出席率		78.95%

#### ニコニコ箱

吉田 逸郎	会員	新年を健康に迎えられた喜びに
橋田 真和	会員	大田さんご入会の喜びに
前元 喜邦	会員	新しい年の始まりの喜びに
吉田 逸郎	会員	ロータリー財団(年次寄付)へ
〃	〃	(恒久基金)へ
辻岡 昌美	会員	ロータリー財団(恒久基金)へ

#### 新会員入会

大田 貴之 会員

皆さんこんにちは。関西電力送配電の大田と申します。プロフィール等は多分ご紹介は既にあったのかと思えますけど、年齢は53歳と言うことで、4月生まれなのでもうじき54歳になります。住いは高槻市というところで淀川を挟んだ向こう側になります。



ロータリークラブの活動は何せ今回が初めてです。で色々和不慣れなところがあるかと思えますけど、

皆さんと共に活動してまいりたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 会長挨拶

皆様、こんにちは。どうぞお食事されながら、お聞きください。  
年末に、下田会員の転勤による突然の退会を聞いて、悲しみに打ちひしがれておりましたが、本日新たに大田会員をお迎えする事になりました。本当に嬉しい限りです。

辻岡 会長



下田会員には、大変お世話になりました。ありがとうございました。大田会員、末長くよろしくお願いいたします。

さて、本日は、ハワイの大田さんが徐々にzoomでお話ししてくれますので、ハワイからの便りをお聞きください。

#### ハワイより近況報告

大田 美和 会員

皆さんこんにちは  
遅ればせながら、本年もよろしくお願いいたします。  
ハワイは今雨季で、今日の気温は最高気温23℃、最低気温が18℃となっておりますが、体感気温は20℃~16℃と朝晩は冷え込んでいるので少し寒いです。



個人的な近況ですが、今年の5月に娘は中学校を卒業し、8月から高校に入学になるので今年の例会初日の日は高校の説明会があったので、欠席させて頂きました。

今年は娘の夏休みに合わせて一時帰国をしたいと思っています。その時にまた皆さんにお会い出来る事を楽しみにしております。

## □ 理事会報告

1. 職場見学会&春季親睦会について  
(宇治職業奉仕委員長 or 滝井親睦委員長)

→ 関西電力さんの送配電施設見学  
20~25名程度であれば見学が可能  
日程については、未定、関電さんの都合を確認してから決定する

2. 次年度役員・委員会構成

→ 次年度会長(下田さん)が異動のため退会  
次年度会長が不在となった場合、過去の様々な経緯があるが、その都度理事会で決めてきたが、細則を確認し、どのように次期会長、エレクトを決めるかを現会長、副会長、幹事で案を出して、2月の理事会に審議する

3. 入会申込の審議

大田 貴之(おおた たかゆき)様

- ・いつから例会に出席になるかを教えてください。

→ 下田会員の退会届を承認

大田会員の入会届を承認し、次回の例会(1/22)から出席してもらう

事務局 中木さんから関電さんの窓口に連絡してもらう

4. 門真市文化芸術推進基本計画パイロットプロジェクト実行委員会主催、かどまアートフェス5への協賛金について

→ 協賛金(30,000円)について、承認する

5. ガバナー及びガバナー補佐訪問日について

- ・12月度の理事会で 枚方RCご提案の日程で返信する

ガバナー補佐: 2026/7/16(木)/ガバナー:  
2026/7/30(木)と決まりましたが、

2回目のガバナー補佐訪問の、再来年の2月~4月の日程がまだ決まっていません。

→ 例年通りの日程でお越しいただく

2回目のガバナー補佐訪問日は、2026年度  
3月11日

6. 11月度の理事会での、来年3月満期のコピー機の再リースについて

再リース料は、13,860円/年とお伝えしましたが、最近の契約では2ヶ月分が再リース金額に

なるところ、当クラブの契約が2020年の契約なので、1ヶ月分の金額で良いそうです。

2026年3月分より 再リース料 8,316円/年になります。

→ 承認する

7. クリスマス家族親睦会の収支報告について

→ 滝井委員長より報告あり(別紙資料があります)

内容について、承認

8. 関西フィルハーモニー管弦楽団・トイボックスさんとのコンサート(子供の日)の件

→ 門真RC主催とするのであれば、出資する(20万円)ことで、承認 今年、5/5に開催予定

9. その他

- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より、2024年事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願いの手紙と冊子が届いています。

→ 寄付はしない

## □ 幹事報告

## 玄野幹事

1. 今年度下半期の年会費について

今年度より会費請求書はメールにて送付させて頂く事になっております。

1/13に事務局より送付いたしましたので、2月末までを目安にお振込み下さいますようよろしくお願いいたします。

2. 再度のおしらせ: IM第3組・ロータリーデーのご案内

今年度のIM3組のロータリーデーは、枚方ロータリークラブがホストとなり、守口文化センター(エナジーホール)にて、「温故創新」ー過去の知恵に学び、新たな価値を創造するーをテーマに、変化の激しい現代社会において、ロータリーの理念を今一度見つめ直し、未来へ向けて創造的な奉仕を模索するとした企画だそうです。

当日は特別基調講演として京都大学大学院教授藤井聡氏をお招きし、「積極財政と日本経済の再生」と題してご講演があります。

ロータリーデーの詳細につきましては、別紙のプログラム・案内チラシをご参照下さい

- ・開催日 2026年4月18日(土) 13:45~16:30 予定 (受付13:00~)

登録料は全員登録となりますので、一人でも多くの出席をお願い致します。

ロータリーデー参加申込書を置いてありますので、出欠のご記入をお願いします。

3. IM3組フレッシュロータリアン研修交流会が3/6(金)にあります。

該当される方にメールでお知らせしましたが、まだ出欠のお返事を伺っていません。

## 玄野幹事



事務局まで、至急ご連絡をお願いします。

➤ 今後の予定

- ・1/29 通常例会：卓話 門真市長 宮本一孝 様  
ロータリーデーPR 訪問の為、枚方ロータリークラブの方がお見えになります。

IM 第3組ロータリーデー副実行委員長

竹嶋 浩之 (たけしま ひろゆき) 様 /

職業分類：不動産業

仲宗根 宏樹 (なかそね ひろき) 様 /

職業分類：司法書士

- ・2/5 通常例会：クラブフォーラム 国際奉仕

部門 西川委員長

例会後 2 月度理事会 開催

- ・2/12 休会

- ・2/19 通常例会：卓話 門真警察署

例会後 情報集会 (13:30~14:30)

□ クラブフォーラム 職業奉仕委員会 宇治委員長

本日、ロータリークラブの職業奉仕についてクラブフォーラムを担当させていただきます、職業奉仕委員長の宇治です。

本日は職業奉仕とロータリーの歴史についてお話させていただきますと思います。

職業奉仕はロータリークラブの設立の根幹になる考えなのです。

皆さんは、毎日の仕事を“奉仕”だと考えたことはありますか？

一般的には「奉仕」と聞くと、ボランティアや寄付を思い浮かべる方が多いかもしれません。

しかしロータリークラブにおいては、私たちの日々の職業活動そのものが奉仕の原点だと考えています。

職業奉仕は単なる「ボランティア活動」ではなく、ロータリアンが持つ職業的使命感や専門性を活かした社会貢献です。

つまり、自身の職業を通じて社会の役に立つとすることが、ロータリーの奉仕の理念を実践できるもっとも身近な方法の一つです。

私たちロータリアンは、具体的な奉仕として様々な活動を各クラブで実践しています。

そして、ロータリークラブにおける「職業奉仕」は、先ほども申し上げましたとおり自分の職業を通じて社会に奉仕することを意味します。

そこで、職業奉仕についてより理解を深めるために、理念とその実践に分けて考えていきたいと思えます。奉仕の理念については、「あらゆる職業において高い倫理基準を守り、それぞれの職業を通じて社会に貢献すること」とされています。理念の実践については「職業上の手腕を社会に役立てる」「自分自身を律し事業を行う」とあります。



まず「理念」についてお話をいたします。

ロータリーの目的は定款第4条に次のように記されており、第2項には次のとおり記されています。

「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」

これは、公正な取引、適切な労働管理、良好な人間関係といった職業倫理を徹底すること。そして、自らの仕事を「単なる利益追求」ではなく「社会に役立つ手段」と捉える。つまり職業や地域活動を通じて社会に対して良い影響を与えようとする姿勢を正に表しています。

この第2に書かれていることが、ロータリークラブが発足された第一の理由であり、多くの方が共鳴するところであり、これがまさに会のアイデンティティと感じます。

さて、ロータリーには二つの重要な公式標語があります。

第一の標語は「超我の奉仕」です。これは、利己的でない奉仕の哲学を最もよく言い表している言葉です。そして第二標語は「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」です。

そして、私たち現代の日本人からしたら、お仕事が世の中のためになるのは当然ではないかと、きちんとした職業倫理をもってお仕事をするのは当然ではないかという思いがあると思います。

日本人にとってはこの職業奉仕の理念というのは、ロータリークラブに言われなくてもその精神を元からもっていると言っても良いのでは無いでしょうか。

ですので、日本人には職業奉仕が既視感があって肩すかしになるような感覚があるかもしれません。

古くから「情けは人のためならず」「三方よし」「職業に貴賤無し」などのことわざがあるように社会倫理、職業へのリスペクトは非常に高く、このような一人ひとりの卓越した倫理感の高さは日本のこれまでの様々なミラクルな発展の要因になっていると思えます。

ここで、ロータリークラブの歴史を振り返ってみましょう。

ロータリークラブが誕生したのは今から約120年前の1905年です。

アメリカ、シカゴでポール・ハリスという弁護士の方が設立されました。

当時の例会は輪番制で会場が回っていきました。来週はこの人の事務所、再来週はこの人の会社といった感じ。その輪番制からぐるぐる回る、回転するという意味のロータリーと名付けられました。

これは現存する世界的な奉仕活動団体としては最も古く、当時の世界情勢としてはまだ植民地を取り合う帝国主義が世界を席卷し世界大戦へ繋がっていく時代です。ヨーロッパやアメリカでは資本主義も発達してきて豊かさの中に矛盾も現れ始めている時代です。

ロータリークラブは結成から5年後には全米での組織が生まれており、その成長スピードに驚かされま

す。この動きは世界にも広がり日本には1920年に東京ロータリークラブができています。多くの企業家や財界人に愛された組織といえます。ロータリークラブの当初の目的は「職業人相互の友情と信頼を深め、社会に貢献する場を創出する。」とあります。「倫理感の高い多職種の友情を作る会」が本来のアイデンティティであり、あくまで奉仕は二次的なものだったかれません。

日本には1920年、大正9年に上陸、1943年には四つのテストが採択、1979年にはポリオ根絶の取り組みが開始されています。既に50年近く経っているということになります。

ロータリークラブの歴史背景として、アメリカ・シカゴという部分もあります。

1905年はまだアメリカの内戦といえる南北戦争後の影響が残っている時代で、資本主義の発展と工業化で大きく社会が変化していく中です。

しかし、当時のシカゴはその発展と裏腹に社会倫理が崩壊し、ビジネスにおいても人をだまして利益を得たり、マフィアの台頭などで政治家が買収され汚職が蔓延し、都市が腐敗してしまう現状がありました。

その現状を嘆いたポール・ハリス達がロータリークラブを設立し、高潔な倫理をもった職業人が集まる会を作り社会を変えていこうと思った時代背景があったのだと思います。

4つのテストについては、ロータリーを象徴する標語です。月の初めにロータリーソングとして必ず選ばれる訳ですので、ロータリーが大切にしている精神としても分かるわけです。この4つのテストはハーバート J. テイラーさんというロータリアンが、倒産寸前のアルミニウムの会社の立て直しをした際に作成した行動基準書になります。この行動基準を元に見事、会社を建て直して成功されました。その後、この4つのテストの著作権を、1943年にロータリークラブへ寄贈されました。

そして、「二つの公式標語」と「四つのテスト」は、それぞれ独立したものではなく、ロータリーの奉仕理念を心のあり方・姿勢、行動基準、結果・成果の三層構造で支え合っていると理解できます。整理すると以下ようになります。

第一標語「超我の奉仕」

これは、自分の利益よりも奉仕を優先するという「心の在り方」を示します。

そして、第二標語「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」

これは奉仕を通じてこそ、友情・信頼・学びなどの「真の報い」が得られるという「結果の真理」を示します。

つまり、この二つの標語は正にロータリアンの出発点（姿勢）と到達点（成果）を示す標語と捉えることができます。

そして、四つのテストは、行動の基準であるといえます。

この四つのテストを日常の判断や行動に落とし込むための具体的なチェックリストとし、この問いに照らすことで、奉仕の理念の「行動基準」として実践できるようになります。

「超我の奉仕」という利己的でない奉仕の精神を持ち、「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という友情・信頼・学びなどの「真の報い」を分かち合い「四つのテスト」を奉仕の理念の「行動基準」として行動する事がロータリアンの在り方というつながりが見えてきます。

標語は私たちの理念を表し、4つのテストはその理念を実践するためのガイドです。

これらを日々の仕事や地域活動に当てはめることで、職業奉仕としての観点で奉仕の理念を実践していくことができると思います。

最後に「理念の実践」についてご説明したいと思います。

あまり時間もありませんので、同じ2660地区で行われている職業奉仕活動の一例をご紹介します。

1つ目は中之島ロータリークラブの事例です。

中之島ロータリークラブでは数年前から、他クラブと共同で、新聞社に出前授業企画を持ち込み、市民講座を開催しています。毎年、WEB参加を合わせると100名以上の一般の方が参加されています。

続いて、大阪城北ロータリークラブの事例です。

大阪城北ロータリークラブでは、多様な職業人の集まりであるというロータリークラブの特性を最大限に活かし、例えばホテル経営、野球のグローブ企画製造、個人資産プランナーなど中学生にはあまり馴染みのない職業についての職業講話を実施しています。

ぜひ会員の皆様の職業を通じて、また日常の理念の実践を通して、世の中をより良いものに変えていきましょう。ご清聴ありがとうございました。



\*\*\* 例会スナップ \*\*\*



ホテル・アゴラ大阪守口様のお正月飾り

